

## 第17回 幼児教育実践学会

〔 本学会の位置付けは、当機構が主催する実践を中心とした全国研究会です。 〕

### 第1次案内（予定）

- テーマ 創りだそう！こどもの未来を拓く、良質な乳幼児期の教育を届けよう！こどもと共に生きるよろこびを
  - 趣 旨 幼児教育の実践を豊かにし、幼児教育の有用性を社会に示すことで、子どもの育ちが最優先される社会が実現されることを目指して、2010年、幼児教育実践学会がスタートしました。  
本学会では、3つの柱により学会運営を行います。
- ①保育現場での実践を踏まえ、発表は事例を用いて、現場にフィードバックできることを念頭に研究会では参加者同士が活発に意見交換を行う
  - ②生きた研修のメイキングの仕方を学び、全ての園の園内研修の充実を目指す
  - ③保育実践者と研究者が共に育ちあう

本学会が大切にしているのは日々の保育実践を振り返り、他の実践者と共に考え合うことです。全国それぞれの園の皆さんが日常的に行っている園内研修での話し合いや、実践を通して生まれた問いそのものが十分に価値ある発表内容です。

本学会では、より多くの園が実践の発表に参加していただくことを願っておりますので、これまで発表経験のない園にも、安心して一步を踏み出していただけるようサポートして参ります。

「まずはポスター発表から！」皆さんもぜひ発表に参加しませんか？

- 期 日 2026年8月20日（木）・21日（金）【2日間開催】
- 予定会場 京都府 京都華頂大学  
〒605-0062 京都府京都市東山区林下町 3-456
- 定 員 900人
- 参加費 8,000円
- 問い合わせ先 一般財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構  
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 4階  
メール：info@youchien-kikou.com

## 学会の流れ（予定）

### ○第1日目

11：30～	12：30～ 13：15	13：15～ 14：45	14：45～ 15：00	15：00～ 17：00	17：00～ 17：30
受付	開会式・表彰式	基調講演	休憩	園内研修の メイキング	口頭発表 打合せ

※「表彰式」では、当機構の令和7年度優秀教員表彰者を表彰します。

※17：00～、第2日目開催の口頭発表で発表される方は、発表の事前打合せを行います。

### ○第2日目

8：00～ 8：50	9：00～ 10：30	11：00～ 12：30	13：00～ 15：30
ポスター会場準備	口頭発表Ⅰ	口頭発表Ⅱ	ポスター発表／昼食

※8：00～、ポスター発表で発表される方は、ポスター掲示等の準備をいたします。

※昼食のご用意はありません。

※終了後は各自解散となります。

## 発表を希望される方へ

### 【応募いただくにあたり確認いただきたいこと】

- ・本学会の趣旨をご理解いただいていること。
- ・幼児教育の実践に携わっていること。或いは、実践を基に研究を行っていること。
- ・より多くの園・実践者に発表していただきたいため、下記すべての発表制約にご了承いただけること。

①1人あたりの発表数…口頭発表・ポスター発表いずれか1発表を上限とすること。

②1園あたりの発表数…口頭発表・ポスター発表それぞれ1発表を上限とすること。

※但し、共同研究者は除く。また、申込数によって二次募集や繰り上げ調整を行う場合がございます。

(例) ●同じ幼稚園に勤務するA・B・C・D・E・F・G・Hさん

・口頭発表にA・B・C・Dさんが応募、ポスター発表にE・F・G・Hさんが応募→可

・口頭発表にA・B・C・D・Eさんが応募、ポスター発表にE・F・G・Hさんが応募→不可

(1園1発表ずつは満たしているが、Eさんが被っていて1人1発表になっていないため)

●☆☆幼稚園のIさん、Lさん、Mさん、◇◇幼稚園のJさん、○○幼稚園のKさん

・口頭発表にI・J・Kさんが1つの発表で応募、☆☆幼稚園のL・Mさんも口頭発表に応募→不可

(1園2発表になるため。なお、ポスター発表の場合も同様です。)

- ・参加費のお支払いにご了承いただけること。

### 【発表いただくにあたりお願いしたいこと】

- ・幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針を踏まえた研究発表であること。
- ・研究発表が一方的な発表に終わるのではなく、質疑応答やグループワーク（口頭発表）等双方向的やりとりも行いながら発表いただけること。また、動画や写真など映像等を用いて参加者が提案事例をより共有しやすいように発表いただけること。

### 【学会誌の発刊について】

- ・幼児教育実践学会をより広く周知し、幼児教育の質向上に寄与することを目的に幼児教育実践学会学会誌を発刊いたします。
- ・第16回幼児教育実践学会学会誌ダイジェスト版を参考に、ご協力いただけるかどうかの意思表示を申込書内記載欄にて行ってください。

URL:<https://youchien.com/youchien-cms/wp-content/themes/original/images/research/pdf/manabinohiroba/202512manabinohiroba.pdf>

・詳細は、7月頃にご依頼いたします。

## ●口頭発表

### 1. 申込条件

・3つの柱の1つである保育実践者と研究者が育ちあうということを踏まえ、大学に所属している、或いは幼児教育に関する研究を行っている方（共同研究発表者）に必ず参加いただくこと。

### 2. 申込について

発表枠は①地区代表②地区代表以外で申込期間等が異なります。下記表にてご確認ください。

	①地区代表	②地区代表以外
発表枠	各地区にて代表発表を決定します。	地区代表以外（園）の発表です。先着順で発表が決定します。
発表数	11 発表	先着 19 発表
申込期間	～2026年4月24日（金）17時	2026年3月23日（月）9時 ～4月24日（金）17時
申込先	各都道府県私立幼稚園団体	当機構
申込方法	・申込先へメールにて申込書を提出してください。 ・件名に「第17回幼児教育実践学会 口頭発表申込」と記載ください。 ・申込書はExcelデータのまま提出してください。 *MacBookで作成した場合のみPDFデータにてお送りください。	
申込書	当機構ホームページからダウンロードいただけます。 URL… <a href="https://youchien.com/practical-society-17">https://youchien.com/practical-society-17</a>	
留意点	・先着順となりますので予めご了承ください。 ・申込書を当機構に提出後、3日以内に発表いただけるかどうかの返信メールを差し上げます。4日以上返信がない場合には、お手数をおかけしますが、当機構宛に再度ご連絡ください。なお、締切時の申込数によっては二次募集や繰り上げでご発表いただける場合もございます。その場合、5月9日（金）までにお知らせいたします。	

### 3. 発表について

口頭発表は90分となりますが、園や共同研究者からの研究発表は50分程度で、残りの時間を討議（質疑応答含む）とします。実践学会では討議の時間が大切だと考えておりますので、その時間が十分に取れますように時間配分にご配慮ください。

### 4. 留意点

- ・当日は教室に備え付けのPCを使用させていただきますので、投影資料はUSBに入れて持参してください。
- ・投影資料は原則WindowsPCで作成ください。MacBookで作成される場合には、PDFに変換いただいたものを投影資料としてください。

### 5. オンデマンド配信

- ・発表内容を発表者が学会当日または別日に収録いただき、学会終了後にオンデマンド研修コンテンツとして一定期間配信することを予定しております。
- ・本取り組み詳細を別紙「第17回幼児教育実践学会 口頭発表 オンデマンド配信にかかるガイドライン」に記載しておりますのでご確認ください、本取組にご協力いただけるかどうかの意思表示を申込書内記載欄にて行ってください。

## ●ポスター発表（園・個人）

### 1. 申込方法

発表数：先着 50 発表

申込期間：2026 年 3 月 23 日（月）9 時～5 月 29 日（金）17 時

申込先：当機構

申込方法：・申込先へメールにて申込書を提出してください。

・件名に「第 17 回幼児教育実践学会 ポスター発表申込」と記載ください。

・申込書は Excel データのまま提出してください。

\*MacBook で作成した場合のみ PDF データにてお送りください。

申込書：当機構ホームページからダウンロードいただけます。

URL…<https://youchien.com/practical-society-17>

留意点：申込書を当機構に提出後、3 日以内に発表いただけるかどうかの返信メールを差し上げます。4 日以上返信がない場合には、お手数をおかけしますが、当機構宛に再度ご連絡ください。なお、締切時の申込数によっては二次募集や繰り上げでご発表いただける場合もございます。その場合、6 月 5 日（金）までにお知らせいたします。

### 2. 発表について

・ポスター発表は 150 分となります。

・ポスターを貼る土台（ポスターボード：縦 180 cm × 横 90 cm × 2 枚）に収まるように、実践研究の要旨・図・表・写真などを貼ったポスターをご準備ください。ポスターボードは当機構で用意いたします。（〔ポスター発表イメージ〕写真参照）

〔ポスター発表イメージ〕



### 3. 留意点

・1 発表につき 5 名を上限とさせていただきます。なお、会場混雑緩和のため、当日は最大 3 名まで同時に在席することが可能です。

・発表者の中に、都道府県私立幼稚園団体加盟園に所属する教職員がお一人も含まれていない場合は、参加費とは別途、発表費を 1 発表あたり 5,000 円いただきます。対象の方には当日お支払いいただく予定ですが、詳細は 7 月頃にご連絡いたします。

### 4. 当日について

・ポスター発表会場で質問に答えながら自由に討論を深めます。

・発表時間中は必ず 1 名は在席してください。

・ポスターは各自が持参し、2 日目 8:00～の指定された時間内に所定の場所に貼り、発表終了後各自で撤収し、お持ち帰りください。

## ●ポスター発表（研究者）

### 1. 申込条件

以下のいずれかの要件を満たしていること。

- （1）大学教員であること。
- （2）大学教員であった方でそれに準じる幼児教育の専門知識をお持ちであること。

### 2. 申込方法

発表数：先着 10 発表

申込期間：2026 年 3 月 23 日（月）9 時～5 月 29 日（金）17 時

申込先：当機構

申込方法：・申込先へメールにて申込書を提出してください。

- ・件名に「第 17 回幼児教育実践学会 ポスター発表申込」と記載ください。
- ・申込書は Excel データのまま提出してください  
\*MacBook で作成した場合のみ PDF データにてお送りください。

申込書：当機構ホームページからダウンロードいただけます。

URL…<https://youchien.com/practical-society-17>

留意点：申込書を当機構に提出後、3 日以内に発表いただけるかどうかの返信メールを差し上げます。4 日以上返信がない場合には、お手数をおかけしますが、当機構宛に再度ご連絡ください。なお、締切時の申込数によっては二次募集や繰り上げでご発表いただける場合もございます。その場合、6 月 5 日（金）までにお知らせいたします。

### 3. 発表について

- ・ポスター発表は 150 分となります。
- ・ポスターを貼る土台（ポスターボード：縦 180 cm×横 90 cm×2 枚）に収まるように、実践研究の要旨・図・表・写真などを貼ったポスターをご準備ください。ポスターボードは当機構で用意いたします。（●ポスター発表（園・個人）（[ポスター発表イメージ] 写真参照）

### 4. 当日について

- ・ポスター発表会場で質問に答えながら自由に討論を深めます。
- ・発表ポスターは各自が持参し、2 日目 8：00～の指定された時間内に所定の場所に貼り、発表終了後各自で撤収し、お持ち帰りください。

### 5. その他

- ・発表に関しての代金はいただきません。
- ・参加申込についてのご案内（開催要項）は申込書に記載のメールアドレス宛に 5 月以降お送りいたします。

## 参加を希望される方へ

○「開催要項」は5月中旬頃に改めてご案内させていただきます。  
当日までの流れは別紙「当日までの流れについて」をご確認ください。

○お申込は、全てゆたかなまナビにて受け付けます。

- ・都道府県私立幼稚園団体加盟園に所属する教職員の方は、ゆたかなまナビで教職員登録後お申込いただけます。
- ・上記以外の方は、お申込時にゲスト登録を行っていただきます。

## ○幼児教育実践学会の3つの柱

**【1】** この学会で行う研究は、保育現場での実践を踏まえ、発表は事例を用いて、現場にフィードバックできることを念頭に研究会では参加者同士が活発に意見交換を行う

ア. 保育実践をより豊かにすることを目指すことから、実践を踏まえた研究であること。

イ. 研究発表が一方的な発表に終わるのではなく、参加者が提案事例をより共有しながら進められるように出来れば写真や動画など映像等を用いていく。

ウ. 保育実践者や研究者など参加者同士が活発に意見を交わす事を大切にしながら保育現場にフィードバックできる生きた研究になることを目指していく。

**【2】** 生きた研修のメイキングの仕方を学び、全ての園の園内研修の充実を目指す

今、すべての私立幼稚園等、一園一園の保育の質の向上、つまり一園一園の保育者、保育者集団の資質向上が求められている。そのためには、対外的な研修もさることながら、各々の園で行われる“園内研修”が質を高めるための根幹となるべきである。園内研修は、日々同僚性の中で効果的に行われ、保育者が仲間を支えられながら自信をもつことができたり、課題を明確にしたりしながら、結果的に教師集団としての質が高まっていくことが重要である。保育者同士が互いに同僚性の中で支えあいながらチーム〇〇園として力を発揮していくことが重要です。

そのために、この実践学会の役割として、生きた研修のメイキングの仕方を学び、実践学会から地区へ、そして最終的には全ての園の園内研修に活かし各園の質の向上を目指す。

**【3】** 保育実践者と研究者が共に育ちあう

今、保育の現場では、研究のフィールドを保育現場におき、子どもにとってふさわしい保育や生活がより豊かになるように実践を理論的に支えてもらえる研究者が求められている。保育者や園長など保育実践者と研究者が本学会をきっかけに出会い、そして共に育ちあう関係を目指す。